

>>>> 平成21年度九州地方発明表彰 <<<<

当センターとさつま町の(有)瀬戸口瓦工場が共同で出願し、平成18年6月21日に特許登録された「高耐久性シラス瓦およびその製造方法」(第3787595号)の発明者が、平成21年11月19日に開催された(社)発明協会主催の平成21年度九州地方発明表彰で、鹿児島県支部長賞を受賞しました。この表彰は、各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的に優秀な発明をした者に対して贈られるものです。

受賞した特許技術は、省エネルギーに役立つ軽

量で断熱性に優れた環境にやさしい屋根材を、低コストで提供するものです。主成分に南九州に大量に賦存する火山噴出物のシラスを細骨材として用いたセメントモルタルを、加圧脱水成形により製造を可能としました。

なお、受賞者は次の通りです。

工業技術センター研究専門員	袖山研一
// 主任研究員	吉村幸雄
// 主任研究員	瀬知啓久
工業技術センター前所長	濱石和人
(有)瀬戸口瓦工場 専務取締役	瀬戸口和徳

>>>> 静電気対策技術講習会を開催しました <<<<

11月11日(水)に、当センター大会議室において、静電気対策技術講習会が開催されました。講師には、沖エンジニアリング(株)の信頼性設計事業部長 福田保裕氏を迎え、「最先端電子デバイスのためのESD障害防止技術」について講演いただきました。48名の参加があり、活発な質疑がなされ大変盛況でした。



>>>> 「シラス」シンポジウムを開催しました <<<<

かごしま産業おこしフェア2009の一環として11月14日(土)午後、市町村自治会館にて、「シラス」シンポジウム～火山のめぐみ「シラス」の可能性と未来～を開催しました。参加者は県内外から180名でした。

基調講演は、「シラスを知り・活かす」と題して、鹿児島大学総合研究博物館館長 大木公彦教授が南九州に賦存するシラスの起源や特徴などを非常に分かりやすく解説され、資源として活用すればシラスは鹿児島の宝になると講演されました。また、シンポジウムでは県内でシラス商品を開発している企業から、シラスとの出会いや商品化への苦労話、魅力や良さなども紹介されました。

軽量・断熱の特性を有するシラスは環境対応型の素材で、今後への可能性や未来を大きく感じました。会場からは、意見や要望等も多く、シラス製品等の展示もあり、大盛況でした。

